

第 13 号

2015 年 6 月 20 日
(平成 27 年 6 月 20 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8333 奈良市中新屋町
23 番地 中江ビル 302 号室
あすなる行政書士事務所内

今年「奈良まほろばソムリエ検定」10 周年！

講演会・通常総会を開催しました



稲畑ルミ子氏の講演

本年 5 月 30 日（土）、「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」シリーズ講演会の第 2 回として「絵画に表された記紀の物語」の演題で、稲畑ルミ子氏（奈良県立美術館学芸係長）にご講演いただき、183 名（会員 134 名・一般 49 名）の方にご参加いただきました。

講演のあと、当会の平成 27 年度総会と懇親会が開かれました（P2 の記事もご覧ください）。

総会では小北理事長から「持てる知識・経験を生かした活動を積極的に実施し、歴史・文化を通じて豊かなまちづくりに貢献してください」とご挨拶いただきました。

以下、その他の主な活動について、日付順に紹介いたします。



総会で当会の活動を紹介

県立美術館で展示、クイズ、講演

4 月 11 日（土）～5 月 24 日（日）、奈良県立美術館で特別展「奈良礼賛～岡倉天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美～」が開催されました。



前川光正さんの特別講演

今年度は検定 10 周年。当会は奈良商工会議所とコラボし、展示室でこれまでの活動を振り返る写真展と奈良検定クイズ、レクチャールームで 9 本の特別講演を開催し、ご好評いただきました。



友松洋之子さんの奈良検定クイズ

天理市民大学で講話

天理市は毎年、市民など約 150 人を対象に「市民大学」を開講されています。昨年、当会が天理市制 60 周年記念ツアーを開催したご縁でお声かけいただき、27 年度

の初回（5 月 22 日）で、「文学で知る！奈良の魅力」という講話を行いました（担当＝鉄田）。



講話「文学で知る！奈良の魅力」

体験学習プログラム 5 本を受託

奈良検定 1 級を受験するための要件となる「体験学習プログラム」、今年から当会は奈良商工会議所から業務委託を受けて実施することになりました。安倍文殊院と磐余の道、柿の葉寿司手作り体験、太子道とその周辺、王寺の里めぐりなど、全 5 本を受託して順次実施しています。



安倍文殊院と磐余の道をゆく（5/31）

「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」講演会には県からの助成が決定し、ますます充実してまいります。ぜひご期待下さい！

（専務理事 鉄田 憲男）

2015 総会



総会での理事長挨拶

平成 27 年度の総会開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

平素は本会の運営に多大なご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。特に今回は定期講演会との同時開催で、一日を通してご参加頂いている方々も多数おられ、改めまして厚くお礼申し上げます。

既にご案内のように今年度からは広く県民の方々を対象とした定期講演会、「なら記紀・万葉を楽しむ」が実施され、今回がその 2 回目でございます。今後も引き続き実施

いたしますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、過日実施されました第 9 回まほろばソムリエ検定試験で難関を突破され、新たに本会に入会された方々に、お祝いとお礼を申し上げ、今後皆様の活動に大いに期待いたします。

さて、本会は 2011 年にソムリエ合格者により任意団体として結成されましたが、2013 年 2 月に奈良の歴史・文化・観光の振興に貢献することを目的に特定非営利活動法人として発足することとなりました。

本会は趣旨に賛同される全ての方々に参画して頂く組織として、各活動グループ等の活発な活動により所期の目的が達成されつつあります事は誠に喜ばしい

ことでございます。

中でも、社寺等の伝統行事の案内や、県下広域にわたる観光ガイド事業。さらには講座・講演会活動にはこれまでにない大勢の参加者を集め、本会の知名度と信頼度を上げることになりました。

本会は現在会員数も 300 名余りを数え正に県下最大級のボランティア組織となり、その動向が注目されています。

来年度は、これまでの事業に加え新しい事業にも取り組んでまいります。どうか皆様方におかれましては、もてる知識経験を生かした活動を積極的に実行され、歴史文化を通じての豊かなまちづくりに貢献して頂けることをお願いいたします。開会のご挨拶とさせていただきます。(理事長 小北 博孝)

定期講演会「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」

「記紀・万葉を味わい楽しむシリーズ講演会」の第 2 回は 5 月 30 日に総会に合わせて実施した。奈良県立美術館学芸係長・稲畑ルミ子さんの講演「絵画に表された記紀の物語」は、古事記・日本書紀の場面が描かれた江戸時代～明治までの 4 つの絵画の解説だった。



稲畑ルミ子県立美術館学芸係長

はじめは江戸初期、狩野探幽作「うがやふきあえずのみことこうたんず鷗鷺草葺不合尊降誕図」。未完成の産屋、その傍らに佇む彦火火出見

尊。豊玉姫は海の国に帰って姿は見えない。浜辺には真床のふとんと草かやに包まれた赤ん坊。古事記よりも日本書紀に記されている場面に必死に目を凝らした。

二番目は江戸時代の浮世絵版画 2 点。歌川芳艶作「素戔鳴尊の八岐大蛇退治」は、神楽、歌舞伎、人形浄瑠璃にも出てくる。今 1 つは「あめのいわや天石窟の磐戸開き」神話で歌川豊国作「岩戸神楽の起頭」の 3 枚構成の絵。絵師・彫師・刷師の協力の下、版元の証明などにも触れていた。

三つ目は「神話の理解を助ける挿話」本居宣長の著作に加えた挿話と説明文、例えば鷗鷺草不合尊誕生の場面には「鵜の羽うぶ屋の大みかたち」などの解説。

最後に記紀神話を主題とした近代画家の代表作として青木繁画伯「わだつみのいるこの宮」が紹介された。海神の香木を、陸の桂木と海の藻類を組み合わせた新たな植物として描いた。日本人が育ててきた海に対する観念を描ききるのに健康を害すほど悩んだとか。しかも構図はヨーロッパの現代感覚も織り込んだものであるなど、着想・画家として持っている知識・技術を駆使した絵であるという。こうして見るとスーツと通り過ぎた絵に自らの鑑賞眼の無さを反省する次第。

今回の講演は絵が題材だけに解説もさることながら、スクリーンに写し出される絵の鮮明さが課題であったと、今後の反省も生れた講演会だった。(小野 哲朗)

「楽・元気」プラザで、セミナー講師初体験

啓発グループの「研究発表練習会」を経て3月22日(日)、学園前の近鉄「楽・元気プラザ」で「春日大社と式年御造替」という講演をさせていただきます。



研究発表会

事前準備 「一桶の水」

「人に一杯の水を与えるには一桶の水を用意しなければならない」との諺があります。生半可な知識で講演はできませんので、随分と知識のインプットに努めました。

パワーポイント資料の制作

事前に鉄田専務理事のチェックを受けました。文字サイズ、色使い、表現方法など教えて頂きましたが、大変勉強になりました。

練習会(1月18日)

啓発グループの練習会は、大変有意義でした。家族の前で予行演習をし「早口」「原稿の棒読み」「表情が固い」等を指摘されていたので、それらを注意しました。

練習会で皆様の後押しを頂き、お蔭様で多少の自信ができました。

本番に向け、声出し練習

自分の声を録音し、何回も声出しの練習を行いました。

今まで人前で話すことが多い方でしたが、自分の声を聞いてみ

ると「長年こんな調子でしゃべって来たのか」と恥ずかしくなりました。

講演を終えて

何とか終了しましたが、今回の講演において以下の教訓を得ました。

1. パワポシート 1枚当りの所要時間は、2分が自分のペースであったが、3分くらいが適当と思った。
2. 声出し練習が大切で、何回も行う必要がある。またこれにより資料の良し悪しが確認できる。
3. 毎日、^{かつぜつ}滑舌練習を行うことが必要。

今後とも、講師経験の場数を踏むことを願っています。

(徳南 毅一)

シリーズ「會津 八ー」

◎ 春日大社神苑萬葉植物園「春日野にて」

かすがのにおしてつきのほがらかにあきのゆふべとなりけるかも

春日野に照りそふ月かげのほがらかにもまた清く澄みわたり、秋のゆふべとなつたことだ。(吉野秀雄『鹿鳴集歌解』)

この歌は『自註鹿鳴集』の巻頭を飾る歌であり、秋艸道人のポケットマネーによる歌碑は昭和18年秋に完成した。しかし、春日野への設置が許可されなかったため、奥田勝邸を経て東大寺観音院の庭に置かれた。

戦後、春日野「雪消の沢」に移されたが秋艸道人は不満であり、昭和30年度後半に萬葉植物園に移され

た。今は、入口を右に進んだ道の左側に建つ。

高さ113cmの飛鳥石(黒御影、石上布留川産)で、刻は喜多栴太郎。

◎ 東大寺「東大寺にて」

おほらかにもろでのゆびをひらかせておほきほとけはあまたらしたり

おほどかにゆつたりと両手のお指をおひらきになつて、この大ききは宇宙に遍満したまふことだ。

昭和18年、聖武天皇大佛鑄造立願千二百年祭に際して、献詠歌《そそりたついらかのしびのあまつひにかがやくなべにくにはさかえむ》を刻んだ歌碑を鐘楼近くに建てる計画があり生

駒石が運ばれたが、戦局の悪化等により中断された。

歌碑建立計画は昭和25年に秋艸道人の古希記念事業として実現した。歌碑は南大門を過ぎて中門手前の左側、勸学院前に建つ。

高さ276cmの北木石(花崗岩、岡山県笠岡市産)で、刻は春日大社と同じ喜多栴太郎。戦前に用意された生駒石は台石となっている。

(池内 力)



春日大社歌碑

東大寺歌碑

会員紹介

奈良、そして京都

NPO 法人奈良まほろばソムリエの会に入会して3年経ちました。史跡等探訪サークルと記紀万葉サークルの活動を主として、奈良を大いに楽しんでおります。この3月からは保存・継承グループの活動にも参加し、奈良の伝統工芸に対する造詣を深めていきたいと思っております。伝統的工芸品「京黒紋付染」の伝統工芸士という職業柄、各地の伝統工芸品にとっても興味があります。

一方、京都ではNPO 法人京都観光文化を考える会・都草に所属しております。この会は、8月にNPO 法人設立満9年を迎え、NPO 法人設立以前から運営

に携わっております。今年で理事になって8年目です。京都では、観光ガイドや京都検定1級受験対策講習会講師・模擬試験問題の作成を行っております。奈良と京都では違う分野の活動を行い、活動内容に変化をつけております。



京都検定1級受験対策講習会の講師を担当

ところで、私が奈良について勉強し始めたきっかけは、京都

検定受験のために勉強している時に奈良との接点が多いにもかかわらず、京都検定公式テキストに奈良に関する記載が少なかったことに起因します。その部分の知識を奈良検定公式テキストに求めました。平城京から長岡京を経て平安京への変遷の歴史・理由に興味を湧かしましたし、後水尾上皇の第一皇女梅宮（円照寺尼）の草庵の建つ場所に修学院離宮が建てられ、梅宮のその後が気になりました。また京都七条仏所の仏師が院派と慶派に分かれ、奈良での慶派の活躍にも興味津々でした。

今後も奈良と京都について、多くの友人と共に楽しんでいきたいものです。（大村 隆清）

「なら記紀・万葉を味わい楽しむ」第3回講演会開催のお知らせ

■日時 平成27年9月27日（日）午後1時30分～3時（受付 午後1時00分より）

■会場 桜井市立図書館 研修ホール（桜井市大字河西31）電話 0744-44-2600

■演題と講師 「桜井市の萬葉歌碑」 奈良女子大学教授 奥村和美様

桜井市には多くの萬葉歌碑が建てられています。これらの歌碑の和歌を読むときに留意すべき点を、萬葉集の漢字本文と訓との関係について触れながら、わかり易く解説していただきます。

<編集後記>

H27年度総会が終わり、奈良まほろばソムリエの会はNPO 法人になってから3年目を迎えました。次号は拡大号となる予定です。楽しみにお待ちしております。

編集に当たった広報グループメンバーは以下のとおりです。（あいうえお順）

秋山・上谷・窪田・小林(誠)・雑賀・沢田・竹内・豊田(敏)・永井・中村・橋口・廣岡・二上・松森・吉川・米山



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8333 奈良市中新屋町23番地 中江ビル302号室

あすなろ行政書士事務所内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記（ブログ）：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード